

ノルマンディーの黄昏 (1993)

A FOREIGN FIELD

メディア TVM

ジャンル ドラマ

製作国 イギリス

時間 87分

公開情報 劇場未公開・NHKで放映

【解説】

「史上最大の作戦」の舞台であるノルマンディーに訪れた元兵士達や、あの戦いに少なからず関わり合いを持つ女性たちが織り成す、上陸作戦50周年を期にBBCが製作した心に残る人生ドラマ。

あの日、イギリス軍兵士として作戦に参加していたシ ril (マッカーン) は認知症患者のような戦友エイモス (ギネス) と共に再びノルマンディーにやってきた。彼らの目的はこの地で眠る戦友の墓参りだったが、シ ril にはもうひとつの目的があった。それは当時“お世話”になった娼婦アンジェリーク (モロー) を探し出してデートに誘うことだった。エイモスをひとりホテルに残しシ ril は“愛しの恋人探し”に出かけるのだが、同じ目的でやってきた元アメリカ軍兵士フェルド (ランドルフ) と鉢合わせしてしまったために、あの時同様にいじましい小競り合いが始まってしまう。それでもふたりは何とかアンジェリークの居所を探し出し、デートの約束を取り付けた迄は良かったが、彼らの目の前に現れた憧れの恋人はとんでもなくケバい姿のバアサンになっていたアンジェリークだった……。

と、ここまではコメディ・タッチで展開していくのだが、そこから始まるフェルドの娘夫婦 (チャップリン&ハーマン) やエイモスがホテルで出会った女性 (バコール) を従えての奇妙なデートを軸としてシリアスなものへと変わっていく。それまで全くの無縁だった彼らが、あの戦いで失ったものや今なお背負い続ける負い目を語る中で、それまでの偏見を許し合い次第に心を通わしていく過程を実に爽やかに描き出した、TVムービーにしておくにはもったいない作品。出演者たちのすばらしい演技に加え、ストーリー展開もなかなかで、特にR・バコール演じる女性の意外な関わり合いには胸を打たれる。

【クレジット】

監督	チャールズ・スターリッジ	Charles Sturridge	
製作	マーティン・オーティ	Martyn Auty	
	スティーヴ・ランニング	Steve Lanning	
製作総指揮	リチャード・ブローク		
脚本	ロイ・クラーク	Roy Clarke	
撮影	リチャード・グレートレックス	Richard Greatrex	
プロダクションデザイン	サイモン・ホランド	Simon Holland	
美術	ドミニク・マスターズ		
衣装デザイン	ニック・イード	Nic Ede	
編集	ジョン・ブルーム	John Bloom	
音楽	ジェフリー・バーゴン	Geoffrey Burgon	
出演	レオ・マッカーン	Leo McKern	シ ril
	アレック・ギネス	Alec Guinness	エイモス
	ローレン・バコール	Lauren Bacall	リサ
	ジャンヌ・モロー	Jeanne Moreau	アンジェリーク
	ジェラルディン・チャップリン	Geraldine Chaplin	ビヴァリー
	ジョン・ランドルフ	John Randolph	ウォルド

エドワード・ハーマン
ドロシー・グランバー

Edward Herrmann

ラルフ
マトロン